



2023南中学校通信

第9号

令和5年12月5日

校長 齋藤 孝太郎

## 「南中ピンクデー」 みんなで、一斉にアクションを起こそう！

11月14日(火)生徒会本部が中心となり「南中ピンクデー」を実施しました。「南中ピンクデー」とは、2007年にカナダで誕生した「いじめ反対運動：ピンクシャツ運動」がもとになっています。「みんなで一斉にアクションを起こそう！いじめ追放！一斉行動！」をスローガンとし、南中のみなで「ピンク色」のものを見たときに、差別(いじめ)をなくす強い意志を持つことを確認しました。当日、朝の学活で、全校生徒へ南中全校生徒のメッセージが書かれている「ピンクシャツしおり」を配りました。このしおりは、南中生徒会と日永地区社会福祉協議会(日永社協)、南中PTAとのコラボ企画によって作成されたものです。もちろん先生方も、日永社協からいただいた「ピンク色のワッペン」を服に貼るなど生徒と共に行動を起こしました。ひとりでいじめに立ち向かうことは、とても勇気のいることです。生徒・職員、保護者、地域が1つになり、この「南中ピンクデー」を通じて、差別(いじめ)をなくす強い思いを発信しました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



【ピンクシャツ運動】ピンクシャツ運動とは、2007年にカナダで誕生した「いじめ反対運動」です。カナダで中学校3年生の男子生徒がピンクのポロシャツを着て登校したことを理由にいじめられました。それを知った高校3年生男子2人がその日の内にピンクのシャツなどを大量に購入し、メールや掲示板で友人知人などに「翌日に着用する」ことを呼びかけました。翌朝、2人はシャツの着用を呼びかけた人に配って着てもらいましたが、この日に呼びかけ以上の学生がピンクの服で登校し、学校がピンクに染まりいじめがなくなりました。以降、毎年2月最終水曜が学校や職場にピンクのものを身に着けていく「ピンクシャツデー」としてカナダ全土に定着し、アメリカやイギリスなど世界各国へ広まりました。この運動は、「いじめ反対」のメッセージとともに、いじめの問題を個人や当事者だけの問題ではなく、社会全体の問題と捉え、いじめの定義や、傍観者にならないことなどを含め、様々ないじめ問題について考える機会となっています。



## 激走！ 南中駅伝部～感動をありがとう！～

19日（日）四日市市中央陸上競技場にて、第39回三重県中学校駅伝競走大会（第31回全国中学校駅伝大会三重県予選会）が開催され、三泗地区駅伝大会を勝ち抜いた駅伝部の男子チーム、女子チームがそれぞれ出場しました。先に女子の部がスタートしました。昨年度の15位を上回る8位入賞を目指して臨んだ今大会、記録46分27秒、大健闘の第9位でゴールしました。特に最後のトラック内で3人を抜いた場面は圧巻でした。今大会の目標としていた8位入賞にあと1歩でしたが、最後まで粘り強くよく頑張りました。続いて、男子の部が始まりました。今年度は全国大会出場を狙って、この日に照準を定めてきました。レースは後方から徐々に順位を上げていく展開となりました。第5区、第6区で区間賞を取る勢いで先頭に迫り、ゴール手前で先頭にたちました。会場は割れんばかりの大声援・・・記録57分21秒 優勝タイムに1秒及ばず、第2位でゴールしました。女子チーム、男子チームとも、持っている力はすべて出し切りました。駅伝部の皆さん、感動をありがとう！



## 期末テストを終えて…お子さまと共に2学期の振り返りを！

11月21日（火）、22日（水）、24日（金）の3日間、これまでの学習の成果を試すべく、2学期の期末テストが行われました。もちろん、点数を取ること大切ですが「それまでの授業内容がどの程度理解できているのか」、「家庭学習は、計画通り進めることができたか」、「提出物をきちんと提出することはできたか」、「最後まで、あきらめずしっかり解答できたか」など、このテストでしっかりと確認してもらいたいです。もし、返却されたテストの解答用紙をまだご覧いただけていなければ、「必ず、答案用紙を見せるように」とご指導をお願いします。点数だけにとらわれず「どのような文字や数字を書いているのか」「あきらめず、最後まで頑張っているか」「理解できているのに、うっかりミスなどないか」などを、ぜひチェックしていただければと思います。よろしくをお願いします。また、定期テストの点数は、本人の学習に対する理解度ををはかる「ものさし」の役割を持っています。決して他人と自分を比べる「ものさし」ではありません。点数にこだわる学習だけでなく、興味を持って取り組む学習や目標を持って取り組む学習を心がけることが、これからの人生の学びを進めていく中学生にとって、とても大切なことだと思います。大学入試が大きく変わりました。今までと違った特別な対策が必要という訳ではないと思いますが、より新しい時代に求められている学力が試される内容になったのは確かです。知っているだけではなく、応用できるレベルまで理解できているかどうか問われます。だから、単に教科書に書かれていることを覚えるだけでなく、毎日の生活の中や身の回りの自然、そして、社会の中で起こっている現実など、広い視野で自分の身の回りを眺め、「見て」「聴いて」「知る」、そして、「活かす」「創り出す」ことこそが学習です。中学校で習得した知識を土台とし、そこから自ら興味を持って取り組み、深めていくことができる力が真の学力であり、これからの社会が求めている学力なのだと思います。自分と他人を比べる学力よりも、自分自身を伸ばすための学力を身につけるために、お子様と共に2学期末の振り返りをお願いします。



【お知らせ：保護者の皆様へ】12月12日（火）、13日（水）、14日（木）に三者懇談会を実施します。懇談時間は、10分程度とさせていただきます。（詳細は、各担任より配付の予定表をご覧ください）  
〔懇談の内容〕2学期の学習や生活について、冬休みの学習や生活についてなど  
※3年生については、受験（検）校決定・就職等についての懇談となります。